

広報 ひろば

たいせつ

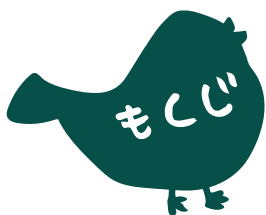


2022 vol.234

<http://www.jataisetu.or.jp/>



田んぼアート 2022
生育が順調に進み田んぼアートが見頃を迎えております
テーマ：「旭川市制 100 年～これからもこのまちで～」



たいせつなここがポイント ————— 02 ~ 06

田んぼアート 2022 ————— 07

たいせつ HOT ニュース ————— 08 ~ 11

理事会・監事会からのご報告・たいせつのあゆみ ————— 12

お盆営業のご案内

 **たいせつ**



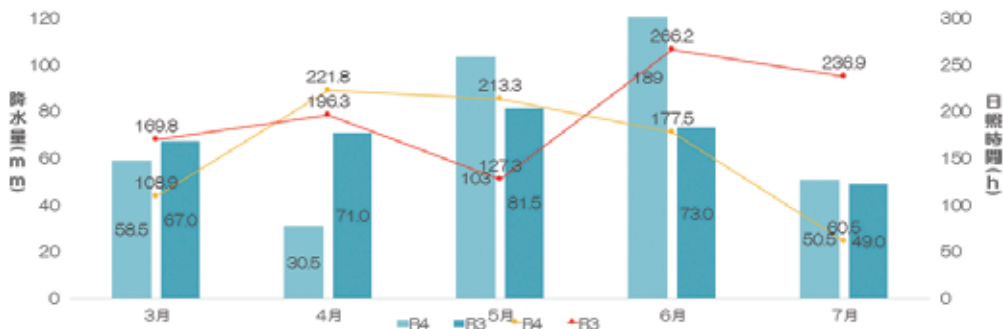
水稻編

◆今年の生育状況について

今年は、m茎数が多く生育が3日程度早く推移しています。(7/1時点)

今後は登熟期に向けて大事な時期となるため、天候に注意しつつ稲の生育状況に応じた適切な水管理と病害虫防除を行い、良品質米の生産に努めましょう。

◆仕上げの水管理と収穫適期の確認



※7月11日までの気象データ
図1 3月～7月までの降水量 (mm) と日照時間 (h)

① 登熟期の水管理

登熟期間に土壤水分が少なく、干ばつになると粒張り不良となり収量低下の原因となるばかりでなく、乳白・心白米による品質の低下も招きますので、土壤状態に応じた落水とその後の走水によって、水田に写真1の様な亀裂が生じないようにしましょう。

《間断灌溉の実施》

出穂期以降は入水時の水深を4～5cmとし、その後水田内の水がなくなるまで入水せずに1～2日間落水状態で管理し再び入水します。このような管理を落水時期まで繰り返し行うことで、根に酸素が供給され根の活力が維持されます。

《落水時期の目安》

落水は出穂後25日前後を目安としてください。透水性不良で乾きにくいほ場では出穂期での落水も可能ですが、その場合は土壤の乾燥状態を見て走り水管理ができるように溝切りが実施されている必要があります。



写真1 亀裂の入り過ぎたほ場

② 収穫適期の確認

《初の色による判断》

近年続いている不安定な天候の影響により、積算温度のみでの収穫適期の判断が難しくなっています。登熟期に籾が黄色くなる現象『黄化』を利用して収穫適期を判断しましょう(図2参照)。黄化は晴れた日に2～3%程進むため、遅れ穂以外の籾で90～95%が黄化し熟籾*となったタイミングが刈り取りの適期です。

※完熟籾の判断は籾の付け根にある護えいが黄色くなっていることで判断をしましょう。

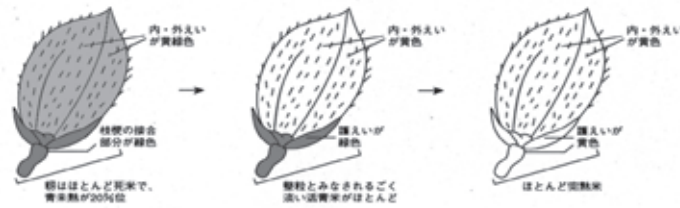


写真2



たいやつのニガ

図2



《玄米サンプルによる判定》

整粒歩合 80%以上を目標として収穫日を予測します。整粒 60%以上の稲の場合、晴れの日で1日当たり2%程度の青米が整粒になると判断します。ほ場の生育差が大きい場合には、1回だけの判定では困難なので再度玄米判定を行います。また、判定の結果刈取適期が1週間以上先の場合も再度玄米判定をして下さい。

畦畔等への農薬散布は細心の注意を！



除草作業の省力化のために畦畔や敷地周辺への除草剤散布が増えています。『作業に慣れてるから大丈夫』や『少しくらいかかっても平気だろう。』などの油断もドリフト（飛散）が発生する要因の1つです。もしも残留農薬が検出された場合は、調査料金や被害に応じた補償等が発生する場合もあるため、周辺に水田や畑、ハウスなどがある場合は風向きやハウスの開閉状況などを十分に配慮してドリフトを未然に防ぎましょう。

畑作編

① 大豆

(1) 害虫防除について

開花期も過ぎ、今後の大豆の主要害虫である「マメシンクイガ」の防除を実施しましょう(表1参照)。マメシンクイガは幼虫のときに大豆の子実に加害します。そのため、**莢伸長始め(およそ半数の株に2~3cmに達した莢がついた時期)から6日目頃**が1回目の防除時期となり、その10日後に2回目の防除となります。

1回目の防除薬剤は合ピレ剤とし、2回目は有機リン系剤を使用して下さい。プレバソフフロアブル5につきましては、合ピレ剤と同様に1回目の使用として下さい。

表1 「マメシンクイガ」防除薬剤

	薬剤系	薬剤名	希釈倍率	10a 当薬量	使用時期 / 回数
1回目 (莢伸長始めから7日目頃)	合ピレ剤	トレボン乳剤	1,000	100ml	収穫 14 日前 / 2回
	ジアミド系	プレバソフFL5	4,000	25ml	収穫 7 日前 / 2回
2回目 (1回目防除から10日後)	有機リン系	エルサン乳剤	1,000	100ml	収穫 7 日前 / 2回
		トクチオン乳剤	1,000	100ml	収穫 30 日前 / 3回

※ 10a 当りの水量はすべて 100ℓ

(2) 収穫の準備をしましょう。

収穫作業の効率化と品質向上のため雑草の抜き取りをなるべく行いましょう。また、わい化病株が見受けられる場合も汚粒などにより品質低下の原因となりますので、写真のような症状を見つけた場合はすぐに抜き取りをお願い致します。



写真1 成虫と幼虫・被害粒
(提供：上川農業改良普及センター)



写真2 わい化病
株葉が縮縮状になり脈間が黄化し、生育後期には株全体が黄変しています。

青果編



青果共通チェックポイント! ✓

- ハウス内の温度が急激に上昇すると葉焼け等が発生します。遮光資材の活用や、こまめな換気に努め作物の生育適温を確保しましょう。
- 8月後半からは夜温が下がり始めるため、夜間はハウスを閉め切ることが多くなります。ハウス内の湿度が高まり病害が発生しやすくなるので、朝に十分換気しハウス内のモヤ抜きを励行しましょう。
- 病害虫の発生盛期です。発生予察による適期防除に努めましょう。
- 急な降雨を想定して、暗きょ等の排水路を確保しましょう。ハウスでは、浸透水や雨水の侵入に備え、ビニールの破損等を補修しておきましょう。
- 作業中は熱中症に留意し、水分と塩分の補給を行いましょう。作業する方については体調管理に十分留意し、いつでも連絡ができるようにして下さい。

① きゅうり

(1) 温度管理

	目標温度
日中温度	25～30℃
夜間温度	15～16℃

※ 30℃以上では、茎葉の老化や奇形果が増加しやすくなるため、換気にも留意する。

(2) 生産管理

長期どり栽培では、収穫節数が進み成り疲れがみられる時期であるため、計画的な摘葉作業と不良果の早期摘果を行いましょう。また、生理障害果の発生を防止するため、早めの追肥や葉面散布を行い草勢の維持をしましょう。収穫は、株の負担を軽くするため、Mサイズ中心の収穫を行いましょう。



褐斑病

(3) 病害虫対策

【褐斑病】

褐斑病の発生が拡大してくる時期です。褐斑病は病勢の進展が早く、発生後の対応が遅れると防除が困難になる。

適切なかん水や摘心・摘葉・整枝作業を適切に行うことで草勢を維持するとともに、発病葉を発見した場合は速やかに除去・搬出し、薬剤散布を行うことでまん延を防ぐ。

【べと病】

多湿条件で発生し、草勢が衰えている場合に多発しやすくなります。積極的な換気を行い、ハウス内湿度を高めないようにする。

摘葉や追肥を遅れずに行い、適正な草勢を維持するようにする。

早めの防除が必要なので、ほ場をよく観察し、病斑を見つけたら葉を摘除し発病初期に防除を行う。

【ハダニ】

葉の裏に寄生し、吸汁により葉の表に白いかすり状の斑点が現れる。ハウス入り口周辺から発生することが多い。多発すると葉全体が黄変枯死し、防除も困難になるので、ほ場をよく観察し早めの発見と、早期防除でまん延を防ぐ。

【アブラムシ類】

ワタアブラムシはウリ類での増殖が早く、葉裏一面に群生するようになり、特に吸汁害によって茎葉が萎凋し、その排泄物によって葉や果実の汚染が発生する。寄生初期に防除を行う。



べと病



ハダニ



アブラムシ

② 原料トマト

(1) 温度管理

		目標温度
日中	晴天	25～28℃
	雨天	16℃以上
夜間温度		13℃以上

今後高温期に入ることから、高温時は遮光資材を活用するなどし、ハウス内温度の低下に努める。また、曇雨天時にはハウスを閉め切りにせず、換気を行い病害の発生を防ぐ。

(2) 生産管理

開花から収穫までは60日以上かかるため、8月上旬が摘心の時期になります。

【摘心のポイント✓】

□最後の開花花房の、上2枚の葉を残して摘芯する。

□上段は日焼けしやすいので日陰にして日焼け防止にするとともに、生長点を確保するため、残した上2枚の葉のわき芽を1～2本伸ばす。

① 裂果防止

昼夜の温度差が大きい秋になると裂果の発生が多くなります。湿度や土壌水分の急な変化により、果実の内部から肥大しようとする圧力が固くなった果皮に加わり発生します。特に、早朝や夜間のトマトの果実品温が低い状況でかん水すると裂果が多くなります。

【対策】

- ・乾燥条件で急激にかん水すると裂果しやすいので、土壌水分の急激な変化を避ける。
- ・かん水は日の出2～3時間後とし、早朝のかん水は裂果を増加させる可能性があるので行わない。最低気温の下がった朝は、特にかん水時間を遅らせる。
- ・草勢を維持し、葉による遮光を施し果実表皮の劣化を防ぐ。

② 高温期の遮光資材活用

高温期には、日焼け果、尻腐果、裂果防止のため、遮光資材（遮光率20～30%）を積極的に活用する。

③ 日焼け果

高温によるリコペン合成の抑制により発生するので、高温時に遮光資材を使用し、果実の温度上昇を防ぐ。

④ 尻腐れ果

高温時は土壌水分が不足しやすく、根からの石灰の吸収が不足するため尻腐症が発生する。

天候に合わせかん水量を増やすなどかん水管理に努める。また、発生が心配される場合は、予め葉面散布を行う。

例：パフォームCa 500～1,000倍

5～10日間隔で数回、開花花房とその周辺の葉に散布

特に5～6段開花時は発生しやすいので注意する。



裂果



日焼け果



尻腐れ果

(3) 病虫害対策

【葉かび病】

原料トマト栽培では8月中旬以降発生が多くなります。

【対策】

- ・気温22～25℃の多湿条件下に長く遭遇すると発病しやすい。過かん水による高湿度を避けるとともに、換気を行い風通しを良くする。
- ・肥料切れさせないよう、適正な施肥・草勢管理を行う。

【オオタバコガ】

幼虫は葉、芽、花弁などを食害するが、老齢幼虫は果実を食害する。果実に頭部が入るくらいの穴を開けて内部を食害した後、付近の果実に移動し次々と食害する。

【対策】

- ・摘芯や摘果した脇芽、花蕾、幼果には卵や若齢幼虫が付いていることがあるので、ハウス内に放置せず、ほ場外に持ち出し適正に処分する。
- ・植物体に食入後では薬剤散布の効果が出にくいので、早めの防除を行う。



葉かび病



オオタバコガ

③ なんばん・ししとう

(1) 温度管理

	目標温度	湿度管理
日中温度	25～30℃	気温 20℃以上の時に湿度を 65%以下にしない。
夜間温度	20～23℃	高温乾燥時は通常の灌水の他に、通路かん水を実施し、ハウス内湿度を確保する。

(2) 生産管理

着果数に応じてかん水量を増減する。根の吸水が活発で蒸発散作用も旺盛なので、少量多回数のかん水を行い、晴天時、高温時は特に注意する。

(3) 病害虫対策

【アブラムシ】

モモアカアブラムシとワタアブラムシの2種類が主に発生し、モモアカアブラムシは、生長点付近や上位の新葉に、ワタアブラムシは下葉の葉裏に多く見られる。多発すると防除が難しくなる場合があるので、ほ場を観察し初発を見逃さずに薬剤防除を実施する。



アブラムシ

④ さやいんげん

(1) 温度管理

生育ステージ		開花まで	開花～収穫期
気温	日中	15～25℃	25℃以下
	夜間	15～20℃	
地温		15～23℃	

※ 30℃以上の高温条件では、不受精による落花や、受精不良によって莢の曲がりが多くなる。

(2) 生産管理

開花期以降は水分要求量が増加する。根は乾燥過湿に弱いので、草勢の維持を意識し、土壌の水分を確認しながら、少量多回数のかん水を行う。

(3) 病害虫対策

【灰色かび病・菌核病】

○発生しやすい状況と対策

開花後の天候が日照不足で多湿の時に多発するので、曇雨天時でも、ハウスを閉め切らずに換気を行う。曇雨天が続くときは、発生に注意し予防防除を行う。

【アザミウマ類】

○発生しやすい状況と対策

莢が火膨れ症状となり商品性が失われる。高温乾燥条件で発生が多くなり、周辺雑草（特に黄色や白の花が咲くもの）が多いと発生も多くなるので、ほ場周辺の除草に努める。

アザミウマ類は花の中にいるので、花の中をよく観察し、発生が多くなってきたら、薬剤による防除を行う。



灰色かび病



莢の火膨れ症状

田んぼアート 2022 特集

7月4日(月) 田んぼアート見晴台解放しました

田んぼアート特設会場に隣接しております、見晴台の一般解放を行いました。

高さ 8.5m の見晴台からは、田んぼアートと田園風景、晴れている日は大雪山連峰を一望できます。

また、見晴台の1階部分にはたいせつ農産物直売所田んぼアート支店を併設しており、たいせつ地域の新鮮な農産物や加工品をお楽しみいただけます。

会場内においては、見晴台に登る前のアルコール消毒と密集や密接を避けていただくようお願い致します。

なお、見晴台屋上では、スマートフォンで出来るQRコードを用いた、たいせつ地域の特産品が抽選で当たる簡単なアンケートを実施しております。見晴台にて右の看板を見つけたら、是非お試しください。

田んぼアート来場記念！アンケートに答えて
たいせつ地域の農産物を当てよう！
スマホでルーレット

田んぼアート 2022 にご来場いただきましてありがとうございます。
本年はアンケートに答えてたいせつ地域の農産物を当てよう！スマホでルーレットを開催しております。アンケートに答えて最品をゲットしよう！

【参加方法】

- ①おのQRコードをスマートフォンで読み込む
- ②おの画面から「アンケートに回答する」を押す
- ③おメール送信画面が表示されるのでそのまま送信
- ④おメール送信後、おの画面にメールが届くのでメールに記載のURLを押す
- ⑤アンケート回答画面に移動するのでアンケートに答える
- ⑥アンケート項目入力後「回答を送信する」を押し、ルーレット画面へ移行
- ⑦ルーレットを回して最品をゲットしよう！



JA たいせつ田んぼアート実行委員会

7月9日(土) たいせつ農産物直売所田んぼアート支店オープン

昨年より、店舗を見晴台の1階部分に新設した、たいせつ農産物直売所田んぼアート支店がオープンいたしました。

たいせつ地域で採れた新鮮な野菜や「JAたいせつ米」「玄米入緑茶」をはじめ、加工品（トマトジュース等）などを販売しております。

なお、田んぼアート支店はPayPayでの電子マネー決済にも対応しております。

旧店舗は残し、手芸グループ「紬（つむぎ）」の会員が手作りするクラフトバッグやマスクなどの手芸品を販売しております。また、歴代の田んぼアートの図柄や、田んぼアートが出来るまでの様子を写真や映像で展示しておりますので、お買い物の合間にぜひご覧ください。



—— 田んぼアート 2022 が見頃を迎えております ——

田んぼをキャンパスに見立て、稲の葉色の違いを利用して絵を描く「田んぼアート“旭川市制100年～これからもこのまちで～”」が見頃を迎えています。縦40m、横170mのキャンパスに北海道産米「なつぼし」（緑）、「紫稲」（紫）、「黄大黒」（黄）、「べにあそび」（赤）、「ゆきあそび」（白）、「あかねあそび」（橙）の6色の稲により色鮮やかにキャラクターたちが描かれています。6月10日に約230人の方々のご協力により植えられた稲は、6・7月の天候により順調に生育が進み、7月中旬からは見頃を迎えることができ、見晴台から見ると、旭川市のゆるキャラ「あさっぴー」と鷹栖町のゆるキャラ「あったかすくん」の絵がきれいに浮かび上がっております。また、この時期になると新聞などのメディアにも取り上げられ、平日でも遠方から来られる方や家族連れのお客さんなどで大変賑わっております。この「田んぼアート」は8月中旬頃までが見頃となっております。

JAたいせつ夏の風物詩“田んぼアート”を是非お楽しみください。



開催を予定していた田んぼアートフェスティバルは新型コロナウイルスの感染急拡大により7月22日第3回実行委員会で中止を決定しました。

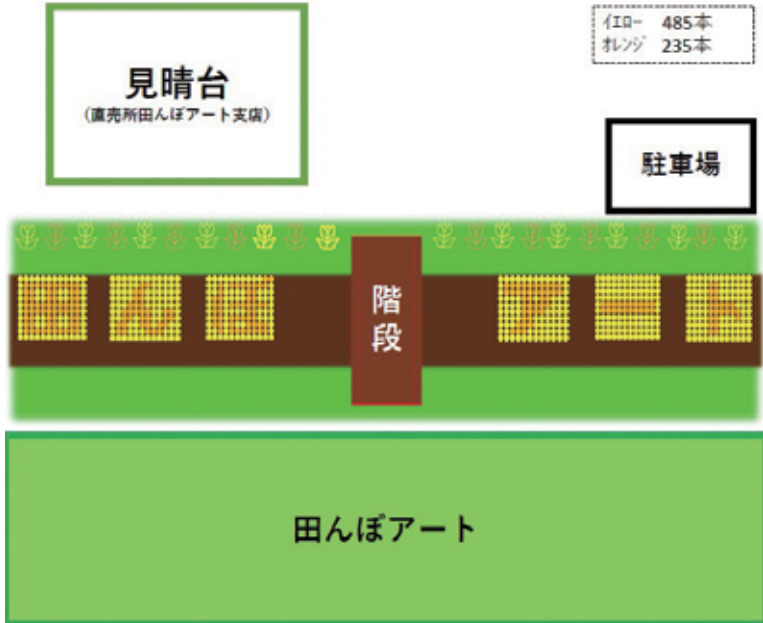
6月28日(火) 女性部の農福連携による新たな共同取り組み(フラワーメッセージ)

今回、田んぼアートの法面を活用して2色のマリーゴールドで文字を描く、フラワーメッセージを制作しました。この取り組みは東鷹栖中山間の共同取組活動として行い、急勾配で石や砂利が多かった法面は(株)高野土木重機興業による花壇整備を実施し、縦3m・横3.7mの6ヵ所の花壇にはオレンジ色のマリーゴールドで「田んぼアート」の文字を描き、文字の周りには黄色のマリーゴールドが咲くように取り組みました。植栽作業には農福連携としてJAたいせつ女性部14名と障がい者就労支援事業所3施設から17名の方々にご協力頂きました。今回初めての農福

作業となる障がい者就労支援事業所の方々も楽しみながら作業に取り組み、女性部の皆さんも充実感のある作業となりました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



(障がい者就労施設：社会福祉法人 旭聖会、社会福祉法人 旭川春光会、(株) ナチュラル)



※完成イメージ

7月1日(金) JAたいせつ青年部東鷹栖支部 廃ビニール回収作業

東鷹栖中山間の共同取組活動として、農業用廃ビニール・空袋回収作業が行われました。毎年行う廃ビニール・空袋回収作業は、東鷹栖青年部の支部活動の一環としてご協力頂き、今回は青年部員31名の参加となり、作業はスムーズに進み、農業用ビニールや肥料袋、育苗箱などを回収し処理業者に引き渡しを行いました。

受入件数は185件で重量は約50トンとなりました。

参加いただきました青年部員の皆様、ありがとうございました。

次回の農業用廃ビニール・空袋回収作業は11月を予定しています。



6月30日（木） 令和4年度新規就農者激励会

J Aたいせつ本所事務所において「令和4年度J Aたいせつ新規就農者激励会」が開催されました。昨年度新規就農された方に激励状および記念品、目録の贈呈が行われました。

本事業は、J A北海道中央会より北海道の農業・農村を担う一員として、新規就農者が英知と努力をもって農業に取組むことを期待し、激励状と記念品が贈呈されました。相澤代表理事組合長より新規就農者へJ Aグループ北海道からの激励状が読み上げられたのちJ A北海道中央会からの記念品が贈呈され、J Aたいせつから目録として農業新聞購読1年分などが外川代表理事専務より贈呈されました。

また、相澤代表理事組合長より新規就農者の方々に激励のお言葉を頂戴し、その後新規就農者の方々に今後の抱負を述べていただき、参加した役職員よりこれからの期待をこめて温かい拍手が送られ閉会しました。尚、今回激励状が贈呈された方は下記の4名の方です。

(左二人目から)

久保 孝太さん

(鷹栖 共栄 経営主：久保 茂信さん)

早坂 明寛さん

(鷹栖 14 区 経営主：熊本 良一さん)

笹川 大輔さん

(東鷹栖 外区 1 経営主：笹川 勝芳さん)

森木 淳弥さん

(東鷹栖 30 区 経営主：森木 研吾さん)



7月4日（月） 水稻青空教室が開催されました

今年の稲の生育状況、幼形期以降の水管理、病害虫防除をテーマとし、上川農業改良普及センター渡部地域第3係長を講師に招き水稻青空教室が開かれました。講習終了後、鷹栖地区宮崎氏の慣行栽培ほ場、舟根氏の密苗栽培ほ場、有倉氏の直播栽培ほ場を視察し、実際に稲の様子を観察しながら特徴や生育の違い等の説明を受けました。視察中積極的な質疑応答が交わされ、また、生産者同士で情報交換する様子も見受けられ大変有意義な講習となりました。

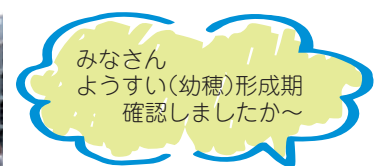
今後も関係機関と連携し現地調査や広報活動等を実施して参ります。何かお困り事やご相談等が御座いましたら下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。



講習の様子



現地視察の様子



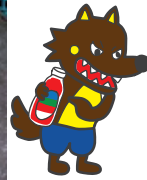
お問い合わせ先

本所営農センター
農産販売課 (57-2357)

支所営農センター
営農施設課 (87-4111)

7月5日（火） 原料トマト出荷開始

トマトジュース「オオカミの桃」の原料となるトマトの出荷が開始となりました。この日は、たいせつ地区で約1トン、次の出荷時には約2.5トンと、日に日に出荷量が増えてきております。生産者により朝収穫された新鮮な完熟トマトはその日の内に瓶詰され、果汁100%のトマトジュース「オオカミの桃」が完成します。8月上旬頃から販売予定となりますので、飲んだことのある方もまだ飲んだことがない方も生産者の皆様が手塩にかけて育てたトマトから作られる令和4年産のトマトジュース「オオカミの桃」を是非ご賞味ください。



7月8日（金） 令和4年度 ライスセンター操業「安全大会」を開催致しました

Jライスセンターの本格的な操業時期を前に、現場における労働者の安全と健康を確保、快適な作業環境の形成を推進することを目的としたライスセンター「安全大会」を開催致しました。

開催にあたり、相澤組合長からご挨拶をいただき、三つの安全（自分に対する安全・人に対する安全・物（商品）に対する安全）及び「慣れ」による事故防止等に関する訓示をいただきました。

研修では当JA労働安全衛生委員会 安全管理者である澤田参事より、業種別労働災害発生状況の報告、コロナ禍における新しい生活様式における熱中症予防行動などの講習を受け、これから操業する上での事故防止対策・作業の順守事項を関係者全員で確認しました。

最後に、外川専務より閉会のご挨拶をいただき、ライスセンター従業員の方々からも安全に作業できる環境作りについて何かあれば提案してほしいとお言葉をいただき安全大会を終了致しました。

これから7月中下旬より秋播き小麦の受入れが開始され、9月上旬からは米の受入れが始まります。

ケガや事故が無い様に気をつけながら、従業員一同、安全意識「労働災害ゼロ」を目標に令和4年度のライスセンター操業を無事終えられる様一人ひとりが注意して作業を行います。



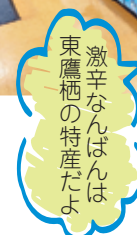
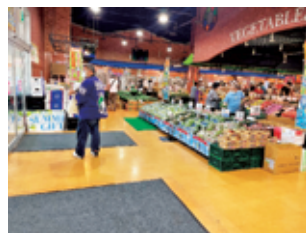
7月9日～10日 旭川青果連フェア開催！

道北アークスウェスタンにて旭川青果連フェアを開催しました。

たいせつ支部は東鷹栖の小沼隆礼さんと、道北アークスウェスタン川端店様でPR活動を兼ねてティッシュとパンフレットと共に、先着100名様にエコバッグの配布をさせていただきました。

トマト等一部の商品では開始後すぐに商品の補充がされており、葉物やピーマン等では一時棚から物がなくなる程の盛況ぶりでした。

お近くのスーパー等で『動物園マーク』のついた野菜を見かけることがございましたら是非お買い求めください。



7月11日(月) 上川地区青年部協議会中央ブロック夏季交流会

毎年、各JAが当番となり、上川地区の青年部8単組（あさひかわ・たいせつ・東旭川・東神楽・ひがしかわ・当麻・ぴっぴ・上川中央）が集まり、スポーツ競技や懇親会を行い、青年部同士の親睦を深める目的のもとブロック交流会が行われております。

新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となった今回は、感染対策を行った上で、旭川市東鷹栖の農村活性化センター野土花 体育館でミニバレーと鷹栖町パレットヒルズにて、懇親会として焼肉が行われました。

各単組の方々と大いに交流が図られ、コロナ禍での貴重な交流会となりました。ご参加いただきました各JA青年部の皆様ありがとうございました。

また、ブロック交流会の事前準備・運営を行いました、JAたいせつ青年部役員の皆様、お疲れ様でした。



7月12日(火) (有)JAあぐりサービス・JAたいせつ無人ヘリ防除運航協議会無人ヘリ安全運航講習会・練習会開催

(有)JAあぐりサービス・JAたいせつ無人ヘリ防除運航協議会では、鷹栖研修センターに於いて安全運航講習会・練習会を開催致しました。

はじめに、JAたいせつ無人ヘリ防除運航協議会伊藤加津則会長の開会挨拶を行い、相澤代表理事組合長・外川代表理事専務をお招きし、代表して相澤代表理事組合長から本年の運航に向けご挨拶をいただきました。

その後、鷹栖神社による安全運航祈願を行い、続いてヤンマー産業用無人ヘリコプターコントラクトアドバイザー熊田竜也様を講師とし安全講習会を行いました。事象事例を基に安全な飛行や注意点などを再確認する事が出来ました。また、講習会で学んだ事を基に、東鷹栖ガンピ山にて飛行練習も行われました。

7月19日から始まる水稲本田防除を無事故で終了できるよう十分気をつけて作業を行います。



オレは防除マン
こい！カメムシ



7月16日(土) 秋まき小麦収穫作業・受入れ開始

昨年より1日早く秋まき小麦の収穫作業がスタートしました。

本年は融雪も順調に進み、その後の天候等にも恵まれ例年同様の収穫開始で、ライスセンターでの受け入れも収穫に合わせて開始されました。

収穫作業は天候に左右され収穫できない日もありましたが、生産者皆様の努力により7月末には概ねの秋まき小麦の収穫作業が終了しました。



秋まき小麦は
うどん用なんだ
う Don't you know?



7月22日(金) 生産資材高騰対策等基本農政確立緊急全国大会の開催

全国農業協同組合中央会、全国農業者農政運動組織連盟の主催により、生産資材高騰対策等基本農政確立緊急全国大会が東京都千代田区で開催され、当組合からは青年部、女性部、JA役職員より計16名がJAたいせつ本所2階大会議室にてオンライン開催として参加いたしました。

ウクライナ情勢や急激な円安等により、肥料・飼料・燃油等の価格高騰・高止まりによって生産現場では危機的な状況となっていることから、参議院選挙後の政府・与党の動きに速やかに対応し、JAグループとして意志結集を図るべく緊急に全国大会が開催されました。

当日は、与党政策責任者である議員の方々からの心強い挨拶をいただいた後、生産資材等高騰対策の具体化や食料安全保障の強化などについて大会決議が採択されました。



理事会からのご報告

令和四年六月三十日第三回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 一、令和四年度第一四半期自治監査結果について
六月二日から三日まで実施された自治監査について、総評、事務整備状況の確認、事務改善事項・事務整備事項について報告され承認決定されました。
- 二、組合員の出資持分譲渡ならびに減口の承認について
相続による持分譲渡二件、持分譲渡二件、減口一件について原案通り承認決定されました。
- 三、事務リスク管理規程の改正について
原案通り承認決定されました。
- 四、時価算定要領の一部改正について
原案通り承認決定されました。

監事会からのご報告

令和四年六月三十日第三回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 一、令和四年度第一四半期自治監査について
六月二日から三日まで実施された自治監査の講評について、原案通り理事会に報告する事が承認決定されました。
- 二、みのり監査法人からの質問に対する回答について
原案通り承認決定されました。
- 三、今後の日程について
原案通り承認決定されました。
- 四、その他について
コンプライアンス事故報告書について検討を行い、原案通り承認決定されました。

お世話になりました

退職

(令和四年七月三十一日付)

金融部共済課共済係

石黒 八千代

「たいせつ」のあゆみ

7月

- 7月1日 労働安全衛生委員会・企画会議
- 7月4日 水稲青空教室
- 7月5日 中央会内部監査期中I（総務課）
- 7月8日 農業振興計画プロジェクト会議
「稲穂の里」協議会三役会
ライスセンター操業「安全大会」
職員採用面接試験
- 7月12日 採種組合役員会
無人ヘリ安全運航講習会
女性部田んぼアート「ヒエ取り」
生産調整現地確認（東鷹栖地区）
- 7月13日 第2回田んぼアート実行委員会
生産調整現地確認（鷹栖地区）
- 7月14日 令和5年度大卒採用面接試験
- 7月15日 青果協議会たいせつ支部理事会
良質米生産研究会臨時総会・視察研修会
- 7月22日 生産資材高騰対策等基本農政確立緊急全国大会Web参加
第3回田んぼアート実行委員会
本支所資材店舗・メカニックセンター・SS中間棚卸
第4回監事会・第4回理事会
- 7月29日

新規採用職員紹介



矢野 博樹

購買部機械燃料課
自動車農機サービス係
(令和四年八月一日付)

お盆営業のご案内

2022

		8月11日(木)	8月12日(金)	8月13日(土)	8月14日(日)	8月15日(月)	8月16日(火)	8月17日(水)	
東鷹栖セルフ給油所	平常営業	7:00~21:00	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業	
	鷹栖セルフ給油所	7:00~20:00							
貯金店舗	本所窓口	休業	平常営業	休業	休業	平常営業	平常営業	平常営業	
	支所窓口								9:00~16:00
ATM	本所	休業	平常営業	9:00~12:00	休業	平常営業	平常営業	平常営業	
	支所								9:00~18:00
本所・支所事務所		休業	平常営業	8:30~12:00	休業	休業	休業	平常営業	
本所・支所営農センター									8:30~17:00
メカニックセンター									8:30~17:00
直売所	東鷹栖本店	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業	休業	平常営業	平常営業	
	田んぼアート支店	10:00~15:00							

※休日の交通事故(共済連フリーダイヤル)0120-258-931、ご不幸(東鷹栖地区)080-1882-3423 (鷹栖地区)080-2875-5827 まで

コイン精米機 お盆休業のご案内

日頃より当JAコイン精米機をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

お盆期間中の休業日が下記の通りとなりますのでお知らせ致します。

8月11日(木)~8月17日(水)

※本所・鷹栖支所営農センター前設置コイン精米機

空きパレット返却のお願い

肥料早取り作業を円滑に行うため、皆様のお宅に空きパレットがありましたら、お忙しいところすみませんがご返却の程よろしくお願い致します。

お問い合わせは

本所生産資材係 57-2357
支所生産資材係 87-4111

